

京都スキー協通信

NO.238

新日本スポーツ連盟京都スキー協議会

2014.9.16

Tel:075-315-9710 Fax:075-315-7039 URL: <http://wsak.cava.jp/index.html>

発行責任者/小山孝夫 編集責任者/荒川邦博 編集委員/中島剛



スキー協の集いクルージング

森の会創立30周年記念行事共催



今年は滋賀スキー協の会員さんの協力により琵琶湖で豪華ヨットに乗船します。
森の会 30 周年記念行事との共催で開催します。
参加費は交通費、BBQ の材料費、手土産代のみ奮ってご参加ください。
ヨット乗船の定員がありますので、先着順に受付けますのでお早めにお申込み下さい。

日時：2014年10月26日(日) 9:30～ (小雨決行)
場所：近江八幡長命寺港 9:30 集合 滋賀県近江八幡市
会費：交通費 500 円 (車乗合せ)、BBQ 2,000 円 (手土産代含、子供半額)
※お酒各自持参 (ドライバー禁酒)、ノンアルとお茶は用意します



<タイムスケジュール>

- 8:00～ からふね屋珈琲店集合 (外環五条)
- 9:30～10:00 長命寺港到着、車から荷物を搬出、ヨット乗船、
- 10:00～12:30 豪華ヨットで琵琶湖クルージング (小川艇、竹山艇)
- 12:30～14:00 長命寺ヨット倶楽部 BBQ (焼肉、焼きそば、ソーセージ、ピザ、おにぎり)
- 14:00～15:00 琵琶湖を眺めながら休息、or 長命寺参拝、解散、

★世話人 (申込)：野口、三上まで 申込書、詳細はチラシを参照ください。

京都スキー協 オフトレハイキング 2014

京都スキー協オフトレハイキングを開催します。

- 行先：比良 武奈ヶ岳
日時：2014年10月19日(日)
集合：京都駅(湖西線)のりば
8:15 発 敦賀行 → 堅田駅 8:35 着
もしくは 8:21 発 敦賀行 → 堅田駅 8:42 着
コース：堅田駅 8:50=(江若バス)=坊村=(160分)=武奈ヶ岳=(60分)=北比良峠=(60分)=ダケ道(大山)=(20分)=出会小屋・イン谷口=(60分)=湖西線比良駅



- 行先：六甲 → 有馬温泉
日時：2014年11月16日(日)
集合：阪急烏丸駅
コース：烏丸駅 7:58=(快速急行)=阪急梅田=阪急芦屋川=(45分)=蛙岩=(30分)
山の神=(60分)=風吹岩=(60分)=雨ガ峠=(3分)=一軒茶屋=(60分)=
六甲甲最高峰=(15分)=車道出合=(2分)=有馬温泉

持ち物：食料、飲料水、タオル、雨具、行動食、ウィンドブレーカー など

参加費：実費

申込み：山スキー部竹口まで (090-3270-1634)

スキー協関連行事、今後のスケジュール

フル・リレーマラソン	2014年10月13日	宝ヶ池公園
オフトレハイキング	2014年10月19日	武奈ヶ岳
オフトレハイキング	2014年11月16日	六甲山
関西ブロック初滑り&指導員研修養成	2014年12月12日～14日	志賀高原
ウイークデートアー	2015年1月21日～23日	木曽福島
第27回関西ブロック競技大会	2015年1月31日～2月1日	北志賀よませ
スキー協 CUP (スーパーG)	2015年2月14日～15日	北志賀よませ
京都スキーフェスティバル 2015	2015年2月21日～22日	乗鞍高原
第41回全国競技大会	2015年2月28日～3月1日	戸狩温泉スキー場
関西ブロック研修・レベルアップスキー	2015年4月3日～5日	志賀高原

☆行事報告☆

2014オフトレサイクリング

7月20日21日山口別荘泊でマキノ方面へのサイクリングへ出掛けました20日朝森田氏宅集合で途中2名と合流し、計7名で一路マキノへと向かいました。しばらく行くと、大原で夜のバーベキュー用の野菜やドレッシングの試食をしたり、高い安い等言いながらとても楽しいひと時でした。車は367号線の花折を越え少し進むと、(そまの道)と言う名前の茶店で昼食、ちなみに(そま)と言うのは樵さんと言う意味だそうです、腹ごしらえをして此处から自転車に乗る予定が、生憎の雨が降り出してもう少し車で進むと其の内、雨も止んできたので、愈々自転車に乗り換え少し進むと朽木本陣、此处で又鯖寿司を仕入れ、本当に愈々近江中庄に有る山口別荘へと向かう。



お風呂に入り夕食のバーベキューと清水氏恒例のウクレレで、ビール片手に合唱が始まり出した時、参加の1人で望峰スキークラブ会長の中野氏が、今日から自転車でフェリーに乗り北海道へ出発するのを、中庄の駅まで見送りに出掛けたが、又全員揃って楽しい宴となりました

次の日は海津大崎を越えて管浦神社まで、美しい琵琶湖を見ながらのサイクリングでした。

山口別荘まで引き返しそこからは、又自転車をたたみ車で帰りました。

山口様には何時も先きに行き用意をして頂き又後始末を御願いして大変お世話になりました有難う御座いました。

【報告】：望峰スキークラブ 五十嵐 和子

第 45 回京都スキー協議会総会



第 45 回京都スキー協議会定期総会を、6 月 29 日（日）午後 2 時から「うるおい館」（下京いきいき市民活動センター）にて開催しました。

9 クラブ中 8 クラブ（1 クラブは委任状）から 28 人が参加しました。代議員は西山 4 人（委任 1）、森の会 3 人、望峰 3 人、シティ 3 人、バーディカル 3 人、スノーフリーク 2 人、かぶりこーん 1 人（委任 1）、雪おこし 1 人、WE スキー 1 人の総計 21 人（委任状 2）でした。オブザーバーで森の会から 1 人の参加がありました。運営委員は森の会 2 人、シティ 3 人、望峰 2 人、バーディカル 1 人の 8 人でした。

発言はのべ 15 人から（全クラブから）あり、主な要旨は、「新クラブの会費納入の軽減を」「スキー協議会規約、指導員規程の改訂を」「各企画の内容をわかりやすく案内してほしい」「指導員養成、検定会、S T T の開催を京都で」「若い人をもっと」「組織を大きく」などでした。

パネルディスカッションでは、三上さんの進行で、刈谷さん（バーディカル）、内藤さん（森の会）、中島さん（西山）に参加してもらい、スキーに対する熱い思いを語ってもらいました。時間が少なかったので申し訳なかったです。

運営委員会では、「場所がよかった」「時間配分を考える必要がある」「時間をもっとゆっくりと」「クラブ交流会を総会の時にできないか（分散会）」「会計監査はもっと早くに」などの意見や感想がありました。

多くの方から貴重なご意見をもらい、来季度に向けての課題も明確になってきました。この 1 年間で、どこまでみなさんの希望に叶えられるかわかりませんが、運営委員会で相談しながら進めていきたいと思っています。ご協力をよろしくお願いいたします。



【報告】：望峰 小山孝夫

第 29 回全国スキー協総会

京都スキー協第 45 回総会を前に、6 月 14、15 日全国スキー協総会が開かれました。小山運営委員長と 2 人が代議員です。

久しぶりの全国的な会議への参加でしたが、今回は、全国的に役員が大幅に変わり、各都道府県理事の若返りも進みました。

副会長に関西から兵庫スキー協の和田氏、北海道からは長年の今沢勲雄さんに代わって島崎氏が新たに選出されました。

理事長も役員選挙直後開かれた第一回理事会で東京の小川氏が選出されて、かなり新しい態勢となりました。

しかし、或る県の代議員の「古い幹部、古参の全国理事の同窓会の如き雰囲気、相当の費用かけて全国総会する意味が有るのだろうか？」という趣旨の感想文があるように、活動や組織がかなりマンネリ化して、情勢の把握や、活動方針と組織拡大方針や、取り組み姿勢に大きな弱点と問題点がある事を実感しました。

29期組織部の方針で【新聞広告で入会が増える等「求めている人がいる事が分かった」等の事例もあり、全てのスキー協・クラブで新会員を迎え、クラブの活性化に向けた取り組みを工夫しましょう。こうした各地の取り組みと一体となり「5000名の全国スキー協に」「クラブは30名以上に」「スキー協は100名以上に、100名は200名」を目標に取り組みます。】とだけ記載されています。

200余りの大阪は？特大の東京、北海道は？小さなスキー協が100名以上にするには大変ですし、100名は200名にといわれても、京都でも倍加という事になります。2年間で倍加！？そりゃ無理でしょう。京都の実例のように、クラブを増やさないと全国的にも増えません。それでは誰がクラブを増やすのか？それは公認指導員を中心とする熱意あるスキー協会員です。雪おこしも、京都西山も指導員を目指す人や初級指導員が中心になって仲間を増やしてクラブ結成し、活動を広げる中で会員も持続的に拡大して来ています。京都もそれで100名を突破したのです。そういう全国の実践例を学び広げて行く活動が必要不可欠です。そういう実践のなかから情勢を分析し取り組み方針を具体化して、展望を切り拓くことが重要なのです。

各論には①組織実態調査アンケート活動 ②組織拡大用リーフレットの作成 ③震災復興子どもスキー取組み ④ボランティア登録制度の検討 ⑤スキーセミナー開催 ⑥ジュニア分野での組織的前進に取組み ⑦ホームページの積極的な活用。という7項目を起こしていますが、それはそれ、しかしどのようにクラブを活性化するのか、どのようにクラブを増やして行くのか、如何に各地のスキー協を拡大強化していくのかが語られていません。総論的目標は、お題目的スローガンで、スキー協運動の発展、拡大強化の理念とリアルな現状分析に基づく具体的な運動論が欠けています。

「クラブの活性化！」とか、「クラブは30人以上に！」とか唱えています、勤労者の厳しい現実と、年金生活者の根強いスポーツ要求などスキー協運動の展開の中で掴んだ、リアルな現状分析に欠けています。

どういう理念を掲げて、いかなる情熱を傾けて、どのようにスキーの普及活動を進めるのか、各地の実践や取組みを総括的に分析して、大局的な戦略の方針と緻密な戦術を打ち出して行く必要が有ります。

私は、公認指導員としての実践・地域スキークラブの結成と、半年で20名を越す組織の拡大強化の取り組みを報告しました。

分散会では組織の拡大強化のテーマで論議されましたが、全国の組織拡大の方針は極めて曖昧で、いつも通りの空文句の羅列であり、スキー協運動を発展させて行く熱意や具体的な戦略の方針が感じられないと指摘し、指導員が歴史的使命を自覚して新クラブ結成やクラブの拡大強化、スキー協運動の前進の為に奮闘する事無くして現状打破する事ができないという基本点を指摘し、全国スキー協指導員部の意識改革が必要である事を重ねて主張しました。

併せて、中央研修において、定員オーバーでかなりの申込者が私も含めて研修を受けられなかった事態は大きな問題で、指導員を研修できる指導員が不足しているという全国スキー協の指導員体制の不備と責任を問い正しました。

今季デモ選でも現役デモ一人が合格しただけで、上級指導員はじめ我々スキー協公認指導員全体のスキー技術レベルが低くて、今のままでは、スキー界における評価が上がっていかないという問題点も指摘しました。

とまれ、批判してばかりでは何も始まりません。私、微力ながら新事務局長に選出されました限り、京都スキー協の組織と活動を活性化し、スキー協運動の新たな地平を切り拓き、全国に実践例を示して行かねばならないと決意を新たにしています。

【報告】：西山スキークラブ 塩谷憲司

サマースポーツセミナー



2014年8月29日、京都から片道700km。8時間以上かけてはるばる郡山へ。

前日出発で2泊3日の旅となった。どうしてこんな遠いところのセミナーに参加しようと思ったのか？ それは、一つには開催地が「福島」という事にひかれたからで、「東北がんばれ！」「福島がんばれ！」と想っていたから。

北陸道、磐越道を通っての磐梯熱海までの道は天気も良く、海を見ながら山を見ながら、黄色くなってきた稲穂を見ながら、また白い穂になった群生するすすきを見ながらの快適なドライブであった。会津富士と言われる磐梯山の綺麗な、優美な姿を見、猪苗代湖畔の真っ白になったそば畑を見、長距離ながら良い旅路であった。

しかし、研修はぎっしりみっちり。一日目午後1時から6時半頃まで、二日目は午前9時から午後1時までと、少々盛り込み過ぎ(!)で、くたびれたセミナーだった。

『「雪マジ 19」3年目の検証とそこからみえてきたもの』は、以前これでどんな効果が出るのかと思ったことがあったので、面白く聞かせて頂いた。このまま続くかどうかは不明だが(10年はやると言っておられた)、今のところまあ順調にいらしているらしい。志賀高原は参加しているが、野沢は参加していない。この差はどこからくるのか、どうなるのか、飛行機のマイレージ理論がスキー場でも同じ効果が期待できるのか、経過を見てみたい。

『「スノースポーツ安全基準」を学ぼう』は、当たり前前ことを当たり前前守ろうと再認識。これを、スキーをする皆に広めなければならない。ますます高齢化するスキーヤーは、好きなスキーを出来るだけ長く続けて楽しむためにも安全なスキーを心掛けたい。

福島・スノーベルSCの佐藤氏からは原発事故から3年の現状をお聞きした。進まない復興、厳しい現実を聞いた。私達の出来ることは何なのか。継続しての支援が必要。

「スポーツ権」の話は、法律がらみで少々難しくしんどかった。

「スキー技術の本質を学ぼう」は、歴史や名言格言からスキーの本質を探ろうとの話で、スライドも見せて頂きながら面白く聞かせていただいた。技術の本質、外向傾姿勢。この外向傾の技術は猪谷千春のフォームから。それから「足裏切り替え」これがとても重要とか。インプットしておこう。しかし、私の理解不足か「足裏切り替え」についてそこまでの説明は無かったなあ……。今シーズンのテーマにするか。

結局のところ、参加者は最後の技術の話に一番熱心だったようだ。

若者の会員が少ないスキー協だが、すこぶる元気な中高年。これがスキー協なのだ実感した。

【報告】：森の会 奥田みよ子

京都スキー協・技術指導員部会報告

2014年9月12日開催・報告：森田 英二
出席：森田、岡島、橋本

1. 関西ブロック技術委員会の報告

- ① 中・上級養成・検定会について
 - 中・上級養成座学：2014年9月21日大阪（実施要項案内済み）
講師：和田、池田、赤木
受講予定者（上級検定）：明星、石垣、富田、岩崎、小山、荒川、清田
 - 実技検定：2015年2月7～8日（初・中・上級セット）
検定員：岡田、池田、森田 事務局：赤木
レポート締切：1月20日（予定）
- ② 雪上技術委員会について
 - 日時・場所：2015年1月17～18日 奥神鍋スキー場 宿：民宿「やまき」
 - 研修の内容
 - 一日目：教程・シーズンテーマ検証、ポール・コブ研修
 - 二日目：STTの実施と技術委員の採点研修
- ③ 2015シーズン・関西ブロック行事について
 - 初すべり&指導員研修・養成：12月12～14日 一ノ瀬（主管：滋賀）
 - レベルアップ春スキー&指導員研修・検定会：4月3～5日 一ノ瀬（主管：大阪）

2. 京都スキー協・技術指導員部の活動スケジュールと内容（予定）

- ① 指導員会議
 - 日時・場所：10月18日午後2時～5時 終了後、懇親会
 - 議事：関西ブロック代表者会議報告、技術・競技部からの活動提起
指導員活動交流 ※ 初級指導員理論研修扱いとする。
- ② 初級指導員筆記試験
 - 日時・場所：11月中旬（受験者の参加条件等を考慮して決定） スポーツ連盟事務所
 - 筆記試験問題作成：橋本
- ③ レベルアップ&指導員研修会
 - 日時・会場：2015年1月25日 今庄365スキー場 実施要項別紙
- ④ STTの実施
 - 2015ウィークデーSKIの中で実施。（1月22日午後～予定）
 - 検定員：森田、三上、小山
- ⑤ 初級指導員検定会
 - 日時・会場・宿：2015年3月12～13日 きそふくしまスキー場 宿：三河屋
 - 検定員：森田、橋本、小山 実施要綱作成：森田 事務局：岡島
 - レポート締切予定：2015年2月20日

「奇跡」の天候の中での八ヶ岳登山

バーディカル 鈴木元

8月9日から8月17日の盆休みの間の介護専念。続いて19日、20日、悠紀子との小さな短い旅を終えた。そこで私自身の夏休みとして私が代表を務めているクラブの夏季特別行事として22日23日24日、長野県の八ヶ岳登山に出かけた。

しかし異常気象である。長い台風11号が終わっても低気圧が日本列島を覆い、広島県などで大災害を起こしている。週間天気予報では引き続き22日23日24日も天候は安定せず雷雨等の予想も出ていた。しかし私は、気圧配置上、長野県の南部は必ずしも大雨にはならないのではないかと、小雨程度なら決行としようと考え参加者には「決行、雨が降る場合はコースを変更します」旨を伝えて出発した。参加者は後記するようにそれなりに足並みのそろった男性2名、女性5名の計7名であった。



22日、名神高速の高速長岡バス停から阪急長距離高速バスの梅田発諏訪行きに9時24分に乗り茅野駅前に14:44に到着。そこでタクシー2台に分乗し辰野旅館まで行く。そこから1時間半ばかり歩いて尾根超えて唐沢鉱泉に泊まる。この唐沢鉱泉、以前の登山者のための宿から車が入れる綺麗な山の温泉旅館に変わっていた。女性3人、2人、男性2人の個室を確保し、立派なヒノキ張りの温泉につかり、料理旅館らしい料理に舌鼓うって一夜を過ごした。

登山なので遅くとも6時には朝食を取り、7時には出かけたかった。しかし旅館であるため7時から朝食を食べ7時50分に出かけることになった。朝起きた時には小ぶりの雨が降っていたが出発の時点では曇り空となっていた。私は「この調子だと多分天候は持つだろう。ただ晴れると高見石に到着する2時か3時頃に雷をともなった夕立になる可能性があるが、そのころには樹林帯に入っているので大したことにはならないだろう。いずれにしてもそれぐらいのテンポで歩こう」と語った。

唐沢鉱泉から前の西尾根に登った。一時間ほどで分岐点に到着。そこから尾根筋をさらに2時間ばかり登る。出会ったのは登りの2組だけであった。尾根を詰め始めたところから風に乗った雲がさっと動きだし晴れ間が広がり山並みが見え始める。一同歓声を挙げて周りの景色を観る。西天狗岳の最後の登りの急坂が現れた。急坂であるとの記憶はあつたが、大きな岩をよじ登りながら登るルートであるとの記憶は曖昧であった。20分ばかり岩をよじ登って11時20分に西天狗山頂(2645m)に到着。さっと昼食を食べて40分に出発し12:05分に東天狗に到着。このころには空は晴れあがり北の蓼科山、南の硫黄岳、東に佐久地方、西に茅野市広がる景色となった。ただ南の方に雨雲が見えたので長居はせず、中山峠の方に下った。

天狗岳は何度も登っているが、思い出深い登山としては悠紀子がまだ元気な1993年10月10日11日に自然クラブの行事として9名で天狗岳に登っている。その時は9日に友人が住んでいた安曇野を散策し、10日、11日に八ヶ岳に入った。ただ私は9日の昼は入院していた父の見舞に行ったので9日の夜に合流した。10日、車で麦草峠まで行き白駒池を巡り、そこから高見石に登り、中山峠を経て天狗岳の山頂を踏み、満員の黒百合ヒュッテで泊まった。11日は中山峠から東側へ下り、ミドリ池を経て稲子湯へ降りた。それから4年後に悠紀子はヘルペス脳炎に倒れた。今では脊柱間狭窄症などに苦しみ、100mほど先にある喫茶店に行くのも苦勞している。歳月は生活を根本的に変えてしまっているが、写真が当時の元気な姿を記録にとどめている。

12時25分出発。東天狗から中山峠への下りは岩場の急坂で、今にして悠紀子もよく歩けたなあ

と思う。1時30分中山峠に到着。再び30分ばかり登り、中山へ。このころから雨雲が近づき景色は見えなくなった。少し休憩し、高見石へ向かう。疲れが出てくるが何とか1時間で到着。ただ雲が出て来て景色は見えない。そこからさらに30分、大きな石だらけの道を下り、白駒荘に4時過ぎに到着。30分に1回5分の小休止を取り、昼食休憩を20分取ったので正味7時間の登山であった。

大きな石があるアップダウンを繰り返す結構厳しい行程である。私ともう1人が70歳、あと63歳を最年少とする7名全員が60台のチームである。内2人はキリマンジャロを登っているし、その2人と私はネパールトレッキングに複数回参加している。後の4人も長く登山重ねてきた人で、今も毎日1時間から2時間、早朝に歩いたりトレーニングを重ねてこられている。60歳を過ぎてもこうした山歩きを出来る人は、口に出すか出さないかは別にして日常的な努力を積み重ねている。風呂があったが男女ともに我々が一番風呂であった。

予約の時に分かっていたが、たまたま演奏会の日であった。夕食後の7時から9時までバイオリン、ヴィオラ、チェロ、フルート、オーボエの一流の奏者による本格的な演奏会であった。小屋の主人の話だと今年で25回目だそうである。高見石の小屋でも演奏会をやっていた。3時間もあれば下山でき、麓に温泉宿がある八ヶ岳の小屋は、山小屋プラスαで特色を出さないと泊り客は減る一方なので、音楽会や天体観測会、山の写真講習会など様々なイベントを行い、リピーターを作る努力をしている。

参加者の大半は60台から70台の人で、玄関の靴置場を観る限り登山靴はほとんどなく、車が入る麦草峠からせいぜい20分程度歩けば来れるこの山小屋の音楽会への参加を目当てに来ている人々のように見受けられた。登山やハイキングと合わせて音楽が好きであったが、歳も行き、もう本格的な登山は出来ないが手軽に行ける山小屋のようなところでの音楽会に参加したしくて毎年来ているような人々であった。最後は参加者全員でエーデルワイスを合唱して楽しい雰囲気での散会となった。

24日は谷一面を大きな石が埋めている「賽の河原」を下る予定にしていた。ただ雨天の場合は滑りやすいのと増水して危険なので、その場合は茶臼山、縞枯山を縦走することにしていた。しかし23日は雨が降らなかつたし、24日は降っても小雨程度そうなので、行くことにした。

6時半から朝食をとり、7時前に出発した。

まず1時間ほど、白駒池の周りを巡り、麦草ヒュッテまで散策。そこから1時間余りかけて丸山(2329m)に登る。15分程下り高見石の小屋に到着。ここでコヒータイムを取る。そこから30ばかり林の中を下ったところが「賽の河原」の入り口。谷を挟んだ兩岸の斜面は火山の造山活動で生まれた大きな石が木々より多い数で覆っている。それが滑り落ちて谷を埋め尽くし「賽の河原」状態となっている。バランスを取りながら大きな石の上を渡ったり、石と石の間を歩いたり格闘して下っていく。雨が降って石が濡れていると滑りやすい、また下の方へ行くと細い谷になっているので、大雨が降ると一気に増水し危険なので、本格的に雨が降る場合は入らない方がよい。日曜日であったが、この間の天候の乱れもあってか下りの人には出会わなかった。登りの人は地元の人らしい夫婦ともう一人単独行の人に出合っただけであった。その代りと言っては何だが、下山途中の山道の進行さきに「何かいるな」と思ってよく見ると大きな日本カモシカがいた。我々に気づいても逃げる様子も、近づいてくる様子も見せず「じっと」こちらを見ていた。

結局1時過ぎに渋の湯温泉に到着、温泉に入り、白駒荘でもらった弁当を食べ、バスを待ち2:45分発の茅野行の路線バスに乗り3時40分に到着。バスの中での夕食のパンやお茶を買って4:10発の大阪行の高速バスに乗って帰った。

全国的に異常気象が続く中で、奇跡的に3日間ともほとんど雨も降らず夏山登山を楽しめた。来年も泊りがけでの夏山登山を楽しめることを期待して終わる。明日25日は悠紀子連れて病院行である。

バーディカル 鈴木元



京都スキー協新体制が決まりました

- ・会長 : 三上
- ・運営委員長 : 小山
- ・副運営委員長 : 森田
- ・事務局長 : 塩谷
- ・会計 : 中島
- ・技術指導員部 : 部長／森田・岡島・寺尾・橋本・矢吹
- ・競技部 : 部長／小山・藤井・後藤・内藤
- ・山スキー部 : 部長／竹口・五十嵐・
- ・企画部 : 部長／野口・三上・矢吹
- ・機関紙部 : 部長／荒川・中島・() () * 2人は急募
- ・ホームページ : 山内
- ・通信 : 塩谷 (各クラブの通信員を募る)
- ・スキーメイト : 荒川 (未納者に関しては各クラブが責任をもつ)
- ・安全 : 藤井 (保険の普及やシステム検討など)
- ・府連盟 : 森田
- ・全国技術部員 : 森田、全国競技部員 : 小山、全国山スキー部員 : 竹口
- ・全国理事 : 三上
- ・関西B役員 : 三上・森田・小山

* 各部の部員を募集しています。



第1回運営委員会報告

日時：2014年8月19日(火) 於：新日本スポーツ連盟事務所

- 第45回京都スキー協議会 定期総会について
- 新体制について
- 今年度の課題について
- 関西ブロック学習交流会について
- サマースポーツセミナーについて
- スキー協のつどいについて
- ホームページのリニューアルについて
- 各クラブ員およびスキーメイトの増減について
- 各行事報告

次回の運営委員会：9月16日(火)

●スキー協会費納入のお願い

今年度の会費の納入につきまして、各クラブへお願い申し上げます。

- 〈振込先〉 口座番号 郵便振替 14420-8324331
 口座名 新日本スポーツ連盟京都スキー協議会
- 〈会費〉 1人 3600円

NO TEXT